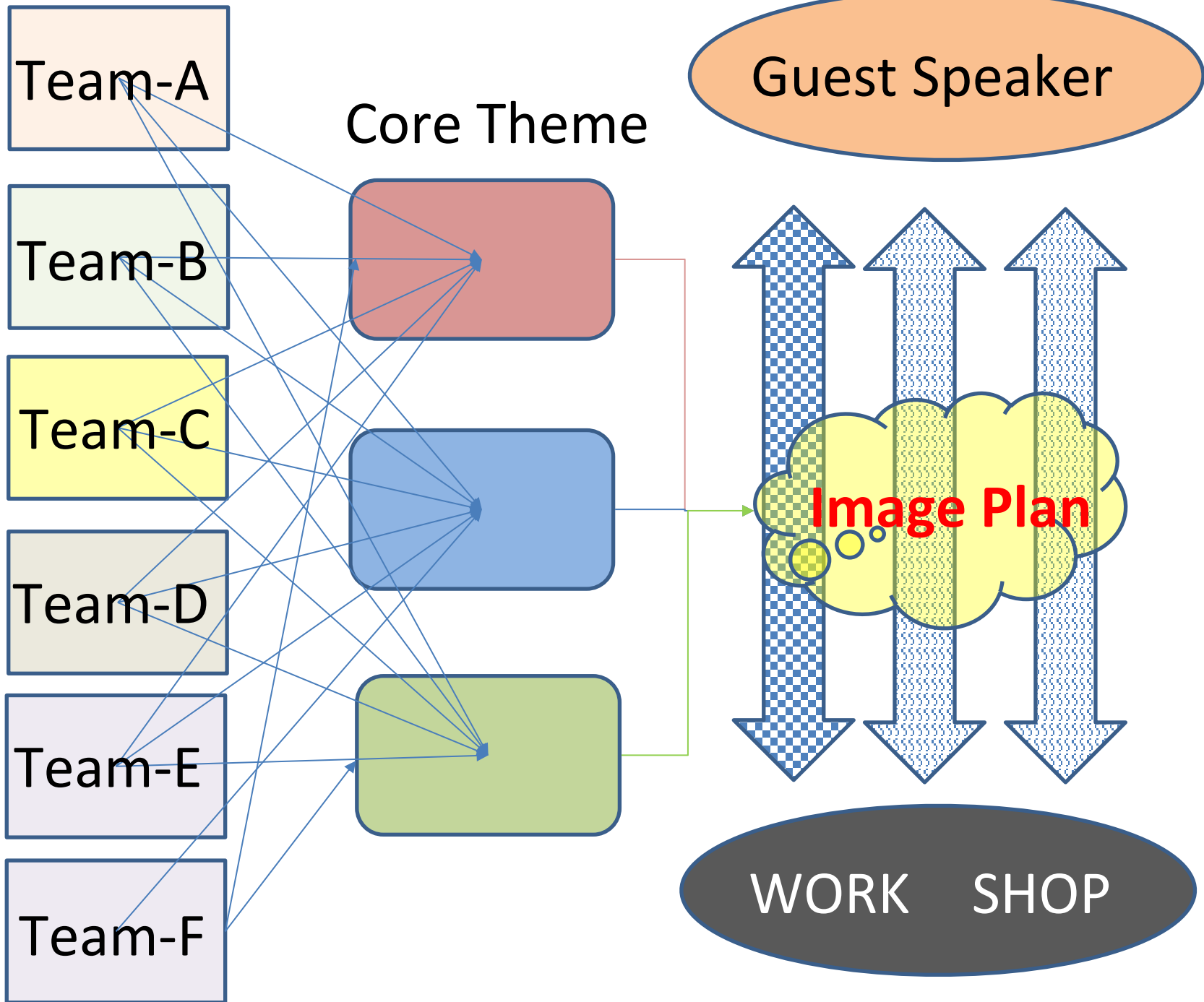


これからの中野のまちづくりを考える会

06-21 Kick off Meeting

第1回勉強会のまとめ

20150726



Team-A: 「現時点でできる活性化」



コアテーマは、

- ・ イベントの強化（サブカル系）
- ・ 女性支援
- ・ 各方面の相互的な交通強化
- ・ 上記のエレメントを実行でき

る

場所、施設の必要性

Team-B: 「若者が未来をつくる街中野」

- ・ 中野サンプラザに代わる

ランドマークのデザインの導入

- ・ 中野通りによる地域地区の分断の改善

- ・ 駅前駐車場、駐輪場の確保と

配置のデザインング

- ・ 線路による南北の分断の改善

- ・ コンテンツ事業の推進

- ・ 緑を取り込んだ屋外空間デザイン

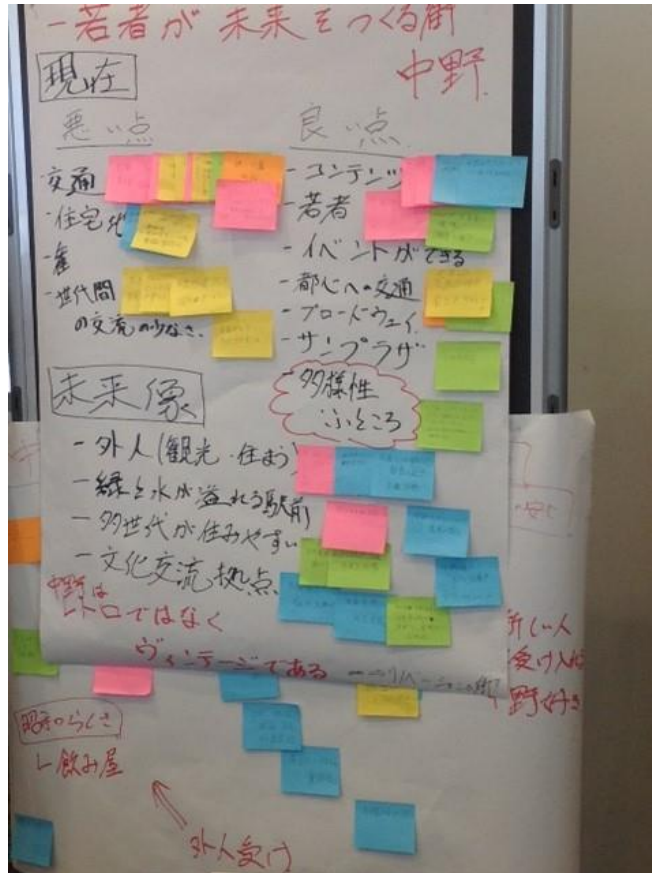
- ・ 多世代が集まれる場所、空間の導入～展開

- ・ ブロードウェイとの関係を保持する駅前再開発

発

- ・ 歩車分離の確立

- ・ 若者が住み、働ける未来の街を夢見て



Team-C: 「住・職・遊」でのまとめ

FirstStep : 「インフラ」、「景観」、「ビジネス」、「文化」、「生活」

の5つのテーマ

「インフラ」

- ・大きなバスターミナルが欲しい
- ・サイクリングロードやジョギングロードが欲しい
- ・歩車分離空間

「景観」

- ・電柱を無くして欲しい
- ・一目で中野とわかるランドマークの新設

「ビジネス」

- ・商店街の活性化
- ・企業しやすい
- ・中野の顔となる主力企業の誘致

「文化」

- ・映画館や劇場
- ・イベントスペース
- ・大きなホール

「生活」

- ・子育てしやすい街
- ・子供の遊べる公園

住

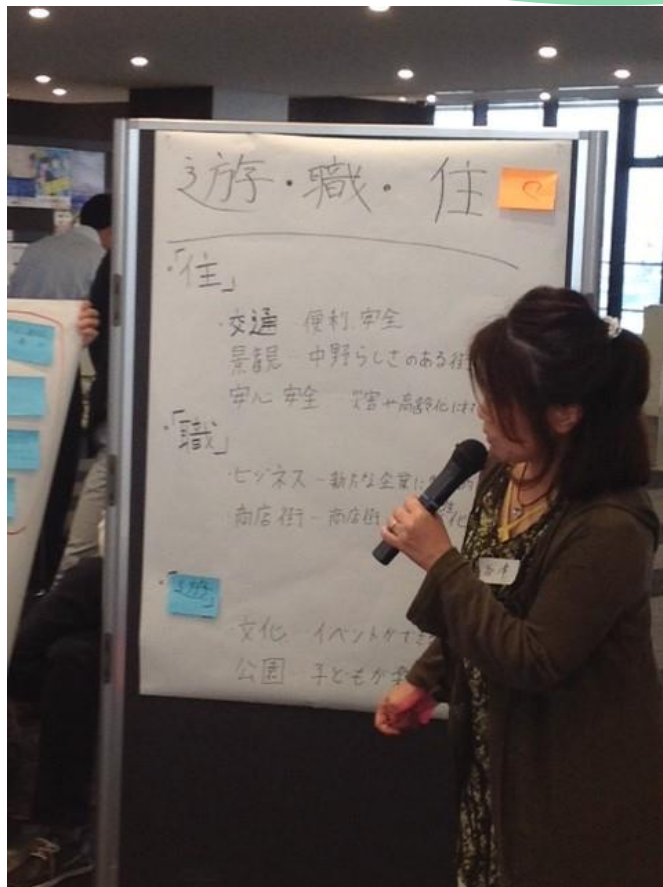
- ・ 子供を育てやすい街
- ・ 安全・安心な街

遊

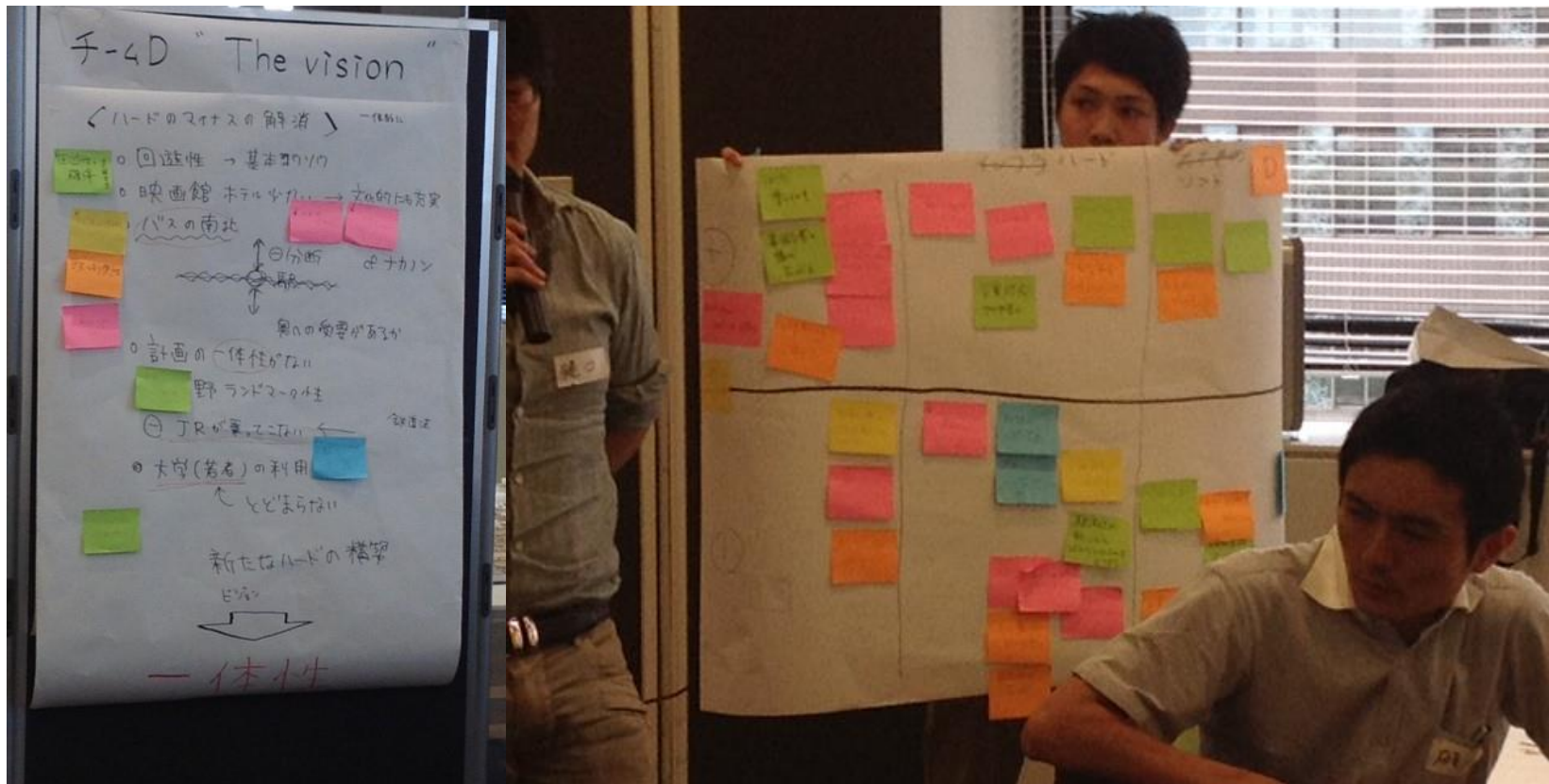
- ・ 子供が遊べる公園
- ・ シネコンの誘致
- ・ イベントなどができるスペース
- ・ 劇場

職

- ・ 中野の顔となるような企業の誘致
- ・ 起業しても失敗しやすい
(何度でもチャレンジできる)
- ・ 商店街の活性化

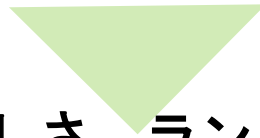


Team-D: 「The Vision」



「一体性」がキーワード

- ・ 区各開発の一体性、一貫性
- ・ 開発と周辺地域との一体性（周辺地域へのメリットデメリット）
 - ・ 交通の一体性（南北の繋がり）
- ・ 増える若者とプログラムの一体性（利用者にあった施設の充実）
 - ・ 駅ビルと開発の一体性（JRとの関わり、共有化）



- ・ 開発の中野らしさ、ランドマーク、認識性
 - ・ 世代間交流
 - ・ 大学の利用
 - ・ 回遊性の確保
- ・ 駅の利便性、使い方

Team-E: 「中野の五つの味」

中野の南北が割れてしまうことへの危機感。

なんとかして南北の遮断を克服し、つなげたい。

・中野の東京全体からみた位置【役割】関係は、

(五味先生曰く、中野は都心でも

田舎でもない中間に位置づくとのこと

)

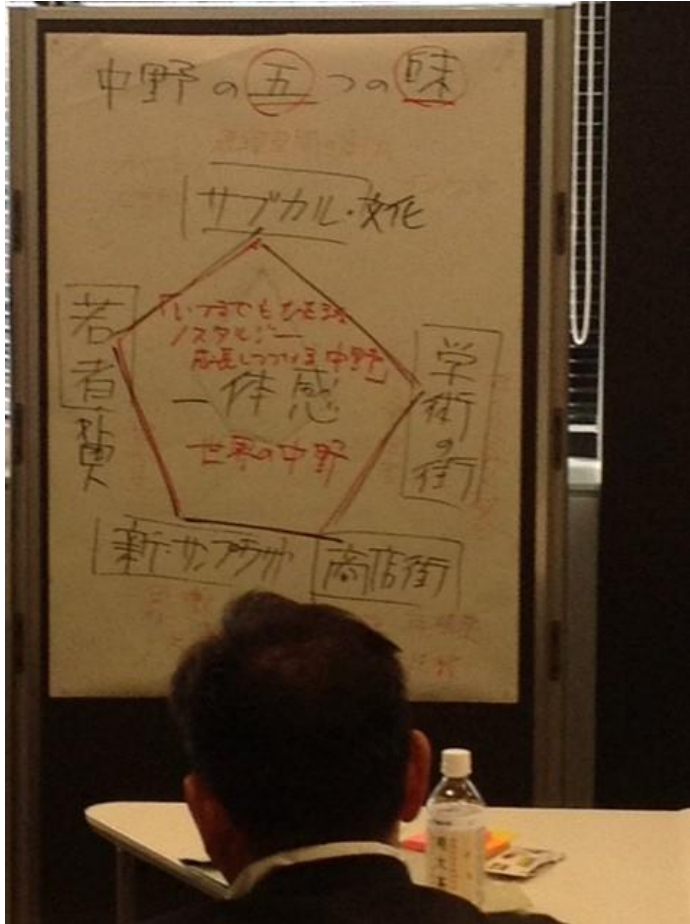
・中野の味は、「ノスタルジック」なところ。

しかしそれに甘えず何かできないか、

次へすすもう。

・サンプラザのシンボリック性を今後どう生かし

、どう建てていくかが大きな命題である。



Team-F: 「いつまでも選ばれるまち 中野」

- ・人が集まるというポテンシャルを生かす
- ・一度だけでなく二度、何度でも訪れたいくなる街づくり
- ・若者へ向けた施設づくり
- ・木造住宅密集地の防災計画
- ・駅前空間においてイベントなどの活動での活性化
- ・自転車と歩行者の間における安全の確保
- ・ランドマークの喪失へ対する新たなランドマークの設立
- ・住民、事業者、来訪者の誰かではなくすべての人にとっての中野というまちづくり
 - 多種多様な人々の混合、交流
- ・北と南との隔たりの改善
- ・住む、買い物をする、遊ぶ、学ぶなど



中野のまちづくりのコアテーマ（6月21日WS）

中心地域の回遊性の確保と駅周辺の高低差の活用

中野の新しいランドマークのデザインング

安全で安心な歩行者空間の確保、車動線との立体処理

駅前開発の一体性、一貫性の確保

中心地域から周辺地域への再整備の波及性

木造密集地域での耐震調査から診断、

及びまちの再整備を踏まえた耐震改修工事、減災計画へのうねり

人口動態の予測をベースとした、若者から多世代の交流の場の創造

若者のライブ感覚・空気感の滲むだし、五感を刺激するシズル効果の醸成

中野らしい商業空間の演出

中野らしい職住近接と遊空間の創造、区内住替え移動とその受皿

水と緑と光のランドスケープ

官民学、区民、交通事業者との連携とエリアマネジメントの必要性

これからの暮らし方、価値観の変化を踏まえた議論の必要性